

開講年次・時期	2年後期	授業回数	15回	時間数	30時間	必修・選択	選択	授業形態	演習	単位数	1単位
---------	------	------	-----	-----	------	-------	----	------	----	-----	-----

科目コード	NK230	科目名	リトミック演習Ⅱ	担当者名	笹森 誠
授業の概要	「リトミック演習Ⅰ」を踏まえ、4・5歳児への指導法を学ぶ。そして、リズムトレーニング(以下、RT)では、2拍子の基礎リズムを踏まえ、リトミックならではの活動(複リズムやリズムカノン等)を体験する。 4・5歳児へのリトミック指導ができるように、そして、そのために必要なRTを実施するため、保育技術(リトミック基礎～応用)の習得を目指す授業内容となる。				
科目の到達目標	テキストに記載されている4・5歳児への指導法の内容を理解し実践できること。更に、2拍子の基礎リズムを踏まえ、複リズム(リズムのデュアルタスク)、リズムの創作(言葉のリズムと記譜)、そして、3拍子のリズムカノンができることを目標とする。				
DPの観点	①聴く力(50)、④協調性(20)、⑧実践力(30)				
授業時間外学修(予習・復習)	授業計画に沿って、実技の予習・復習をそれぞれ30分行う。				
フィードバックの方法	各授業に於いてはICTを活用し、認定試験終了後に於いては概説を全体に、詳細は個別にフィードバックを行う。				
単位認定の要件	認定試験で資格認定基準点(7割以上)を取ること。				
評価の方法・割合(%)	リズム(3種)70%、演奏30%				
履修上の注意事項	①動き中心の授業になるので、動きやすい服装・履物(学校指定のシューズ)を着用する。 ②『保育者になるためのピアノ教本』の実践編程度のピアノ演奏能力が必要。そのための努力を惜しまないこと。 ③「リトミック演習Ⅰ」を合格者のみ履修可。				

回数	予定	実施	テーマ・内容	観点	方法
1			ガイダンス、前期の復習	聴く力、実践力	観察及びロイロノート
2			2拍子の基礎リズムの理解、子どもの歌への活用等	聴く力、実践力	観察及びロイロノート
3			4歳児1学期①pp.10~24(拍と数、おと、即時反応、他)、RT	聴く力、協調性、実践力	観察及びロイロノート
4			4歳児1学期②pp.25~40(ニュアンス、即時反応、拍子、他)、RT	聴く力、協調性、実践力	観察及びロイロノート
5			4歳児2学期①pp.58~74(即時反応、拍と数、拍子、他)、RT	聴く力、協調性、実践力	観察及びロイロノート
6			4歳児2学期②pp.75~88(動きの基礎練習、拍子、おと、他)、RT	聴く力、協調性、実践力	観察及びロイロノート
7			4歳児3学期pp.104~133(おと、即時反応、拍と数、他)、RT	聴く力、協調性、実践力	観察及びロイロノート
8			5歳児1学期①pp.10~24(即時反応、動きの基礎練習、他)、RT	聴く力、協調性、実践力	観察及びロイロノート
9			5歳児1学期②pp.25~39(おと、拍子、拍と数、他)、RT	聴く力、協調性、実践力	観察及びロイロノート
10			5歳児2学期①pp.56~73(動きの基礎練習、即時反応、他)、RT	聴く力、協調性、実践力	観察及びロイロノート
11			5歳児2学期②pp.74~86(リズムパターン、拍子、リズムカノン、他)、RT	聴く力、協調性、実践力	観察及びロイロノート
12			5歳児3学期pp.88~128(おと、拍と数、他)	聴く力、協調性、実践力	観察及びロイロノート
13			これまでの振り返りと補足	聴く力、実践力	観察及びロイロノート
14			1級資格認定試験リハーサル	聴く力、実践力	観察及びロイロノート
15			後期のまとめ(1級資格認定試験)、講評と諸連絡	聴く力、実践力	観察及びロイロノート
期末試験					

使用テキスト	幼稚園・保育園のためのリトミック4、5、リズムカード、カラーボード、スティック、資格認定試験リズム課題練習CD
参考文献 参考URL	エミール・ジャック＝ダルクローズ(訳者:板野平、発行:全音楽譜出版) リトミック論文集 リズムと音楽と教育(訳者:山本昌男、監修:板野平、発行:全音楽譜出版社) 他
備考	進行状況により、授業のテーマ・内容は変更になる場合がある。

DPの観点	①聴く力②表現力③柔軟性④協調性⑤社会性⑥専門知識・技能⑦思考力⑧実践力⑨主体性⑩問題解決力
-------	--

授業の自己評価	
---------	--